

No.	都市名	設問1 学校給食について				2. 食物アレルギーの調査について			3. 米飯の中に麦を混ぜていますか			
		除去食 対応	代替食 対応	弁当 持参	その他	調査票を作 成している	診断書のコピーを 提出させている	その他	麦を混ぜている	麦を混ぜていない	※混ぜている場合の理由	
1	前橋市				○	一部の調理場でナッツ類やドレッシング一 部の種類を除去対応している			アレルギー調査の中に食物も調査項 目の対称にしている	○		食物繊維を摂取するため、カレー等の献立の際に 「麦ご飯」として、月1、2回程度提供している。(カ レーの場合は比較的食べやすい)
2	函館市				○	止められるものの場合(パンや牛乳等)は、 止めるアレルギー物質が多岐にわたる場 合は、弁当持参	○		各学校単位で調査		○	
3	旭川市	○	○	○	○	対応方法は学校ごとに異なる	○			○		基本は白飯で、麦飯を月に数回実施している。食物 繊維とビタミンB1の強化のため。
4	盛岡市	○	○	○	○	学校・調理場ごとに対応が必要な人数、ア レルゲン数、調理場の施設・設備・人員の 違いがあることから、画一的な対応はして いない。	○	○	保護者等の面談	○		食物繊維を摂取の観点から。ただし、献立によって 混ぜないこともある。
5	秋田市				○	各学校の判断で対応			学校により異なるが、食物アレルギー 児への対応に当たっては、調査票や 診断書のコピーを求めることが多い。	○		不足しがちな食物繊維及びビタミンを摂取させるた め
6	郡山市	○	○	○			○		エビベン使用者に限り、保護者の承諾 書(本人がいない場合)をとるととも に、主治医のところまでエビベンの打ち 方を研修する。	○		食物繊維を摂取するため
7	いわき市			○	○	飲用牛乳のみ除いた給食(主食・副食のみ 給食):牛乳アレルギー児童生徒対象 飲用牛乳のみの給食(主食・副食は提供し ない):牛乳アレルギー以外の児童生徒対 象	○	○		○		月に数回(献立に変化をもたせる。食物繊維・カルシ ウム強化)
8	宇都宮市	○	○	○	○	「学校給食における食物アレルギー対応マ ニュアル」を作成し、全小中学校の校長、 養護教諭、栄養教諭、栄養職員に説明、配 付。各学校では、児童生徒の状況に応じて 対応している。	○	○ (原則原本)	宇都宮市独自方式の指示書を作成。 診断書が指示書のいずれかの提出を 求めている。	○		日本人が欠乏しやすい栄養素のビタミンB1、食物 繊維の含有量が多い。
9	川越市				○	卵を使わないパンの提供、牛乳の代替と してお茶の提供、食材の原材料の資料提供	○			○		麦ご飯として提供時10%混ぜる。栄養価を考慮
10	船橋市	○		○						○		ビタミン、食物繊維が含まれているため
11	柏市	○								○		不足しがちな栄養素を補うため
12	富山市				○	各学校で対応している	○	○		○		食物繊維摂取量の確保のため
13	金沢市			○							○	
14	長野市				○	給食センター[大規模調理場]:飲用牛乳の 停止、配合材料表の送付、可能な範囲で のアレルゲンとなる食品の少ないもの使 用等。共同調理場[小規模調理場]:一部 のアレルゲンとなる食材について除去食、 代替食の提供	○			○		価格的に安価で提供可能なため。 栄養価の問題で繊維質摂取のため。
15	岐阜市	○		○						○		米飯は週に3回実施。食物繊維を摂取するため、週 に1度麦を混ぜている。
16	豊橋市	○			○	必要に応じて、おかずを家庭から持参可	○	○		○		ビタミン強化のため
17	岡崎市			○							○	
18	豊田市			○	○	希望する保護者へ詳細な献立表を配付し ている。飲用牛乳の代替食対応(緑茶)をし ている。			飲用牛乳代替食について、食物ア レルギー診断書を作成している。	○		月に数回、麦ご飯を実施。白米に比べ、食物繊維な ど多く含まれ栄養価が高いため
19	東大阪市	○			○	献立の内容により代替食、弁当による対応 の場合あり	○	○			○	
20	姫路市			○		重症児童のみ			(保健調査)新入生については、就学 時検診で食物アレルギー調査等を実施。 特にエビベンを処方されている児 童は、生活管理指導票等の医師の指 示をもらっている	○		年2～3回麦ご飯を提供している

No.	都市名	設問1 学校給食について			1. 食物アレルギーの対応について			2. 食物アレルギーの調査について			3. 米飯の中に麦を混ぜていますか		
		除去食 対応	代替食 対応	弁当 持参	その他	調査票を作 成している	診断書のコピーを 提出させている	その他	麦を混ぜている	麦を混ぜていない	※混ぜている場合の理由		
21	西宮市	○				○	○		○			食物繊維やビタミン・ミネラル等が豊富なため、炊き込みご飯などに変わり、ご飯の時のみ(白飯の時は残量が多くなるため)混ぜている	
22	奈良市	○		○		○			○			食物繊維摂取のため	
23	和歌山市				○	○	一部除去				○		
24	岡山市												
25	倉敷市	○	○	○	○	○	校内アレルギー対応委員会を設けて、アレルギー症状をもつ児童生徒への対応を実施している。(左配を併用しながら行う。)				○		
26	福山市		○			○		医師の指示書を提出	○			栄養面の配慮、月1回程度	
27	下関市				○	○	現場の状況に応じて、除去食・弁当対応	○			○		
28	高松市	○		○		○			○			小児生活習慣病予防の対策として、食物繊維の摂取量を増やすため	
29	松山市	○		○		○					○		
30	高知市	○				○		学校給食で対応する場合は、主治医の指示書を提出	○			ビタミンB1・B2、食物繊維の摂取	
31	久留米市	○			○	○	食物により、代替食、弁当持参での対応	○	○	保護者からの申し出	○	年間57回程度実施。麦には食物繊維が多く含まれているため、栄養上の配慮により実施。	
32	長崎市	○	○	○	○	○	加工品の成分表を調査し渡す	○	○		○	月に数回実施することにより、献立のバリエーションを増やすため	
33	熊本市												
34	大分市	○	○	○		○			○	○		月に3~4回麦飯を委託炊飯している	
35	宮崎市				○		可能な範囲で除去食を原則にしているが、各給食センター、各学校の実態により対応は異なっている。			学校へ、対応に当たっては医師の診断に基づくよう指導している。	○		不足しがちな食物繊維は補えている。
36	鹿児島市	○	○	○	○	○	除いて食べる。全部食べない。体調により食べる。	○			○		カレーライス等のかわりご飯の際に、主に食物繊維を摂取する目的で麦を混ぜている。
37	尼崎市	○			○	○	一部委託校にて甲殻類等除去や小麦アレルギーへの代替米飯	○			○		月に1回麦を混ぜた米飯を提供している(カレーライス等分りにくい日)
38	豊中市			○	○		献立にアレルギー食材を表示して食べられない給食を選けてもらっている			特別な調査はしていない	○		食物繊維をとるため
39	箕面市	○				○			○	○			診断書の代わりに医師の意見書、検査結果等の提出も可。保護者との懇談を実施。
40	摂津市	○							○	○			学校アレルギー生活管理指導表を使用している。
41	吹田市	○				○					○		栄養的な面を考えて混ぜている。
42	池田市	○									○		
43	茨木市	○		○		○			○	○			強化米を使用していないので、ビタミンB1のため